

# 1. 感染経路の類型を明確化し、類型に応じた明確な注意をする。

- ・新型コロナウイルスは、人から人へうつることから、感染経路の類型を明確にすることにより、類型に応じた「うつらない」「うつさない」ための対策をとることができます。
- ・このため、これまでから感染経路の調査と推定に力を注いできており、7月以降9月16日までの感染経路の推定結果と類型毎の注意例は次のとおりです。
- ・今後、更に詳細な感染経路分析を進め、類型毎のより効果的な感染予防、感染拡大防止のための注意事項を発信してまいります。

# 1-1 全感染判明者の1次～4次までの感染分析をし、その類型がわかってきています

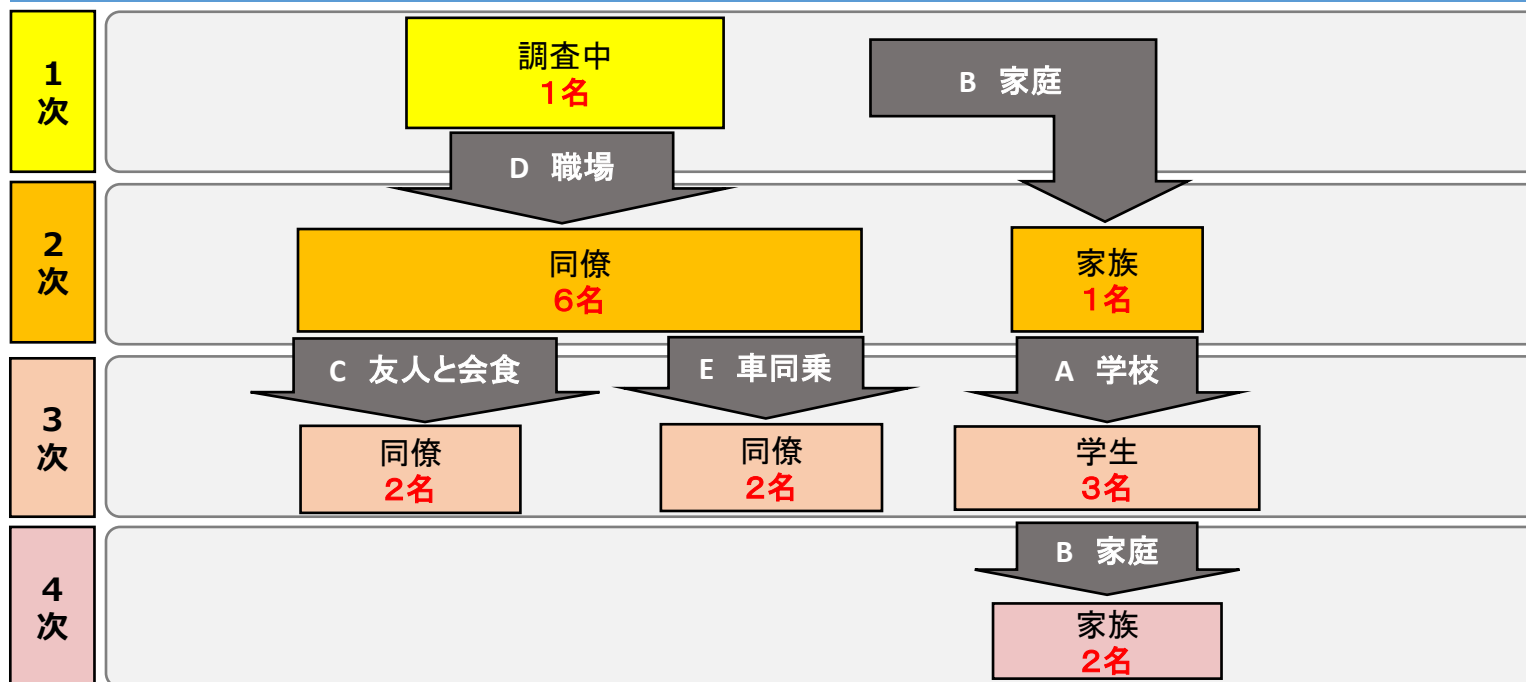
○7月以降9月16日までの全感染判明者数 458名

1次感染者	156名	34%
2次感染者	186名	45%
3次感染者	16名	
4次感染者	2名	
調査中	98名	21%

## 1-2 1次～4次感染者とは

- 1次感染者・・・県内在住者として最初に感染された方  
(県外感染者との接触により感染された方)
  - 2次感染者・・・1次感染者から感染された方
- 以下、3次・4次と連鎖します

【参考：佐川急便(株)奈良営業所・県内高等学校の事例】



# 1-3 1次感染者の類型(9月16日現在)

○大阪等に行って、うつされた人 140名

大阪		大阪以外					
118名		22名					
飲食	勤務	買い物	学校	飛行機内	スポーツ	ジム	車乗車
93名	31名	5	4	3	2	1	1

○県外から奈良県にこられた方から、うつされた人 16名

大阪	近畿圏 (大阪以外)	東京	首都圏 (東京以外)
8名	6名	1名	1名
仕事	家族	友人	福祉サービス 利用者
7名	5名	3名	1名

## 1-4 2次～4次感染者の類型（9月16日現在）

類 型	7月以降	第1波(1～6月)
A 家庭	64名	21名
B 学校・寮生活	63名	
C 友人宅訪問・友人と飲食等	39名	
D 職場	14名	
E 福祉施設内・介護サービス等	10名	
F 病院内	9名	
G 車同乗	5名	
合 計	204名	21名

- 7月以降の感染では、**家庭、学校・寮生活、友人等との交流**が目立っています。
- また、県内事業所、飲食店、大学における部活動・学生寮、高齢者施設及び病院においてクラスターが発生しました。

**1-5 詳細調査の必要な案件が当初は残りますが、  
調査が進展すると類型が判明してきます  
(9月16日現在の調査中事例の推定案件  
98名)**

**○勤務・通学先が県外 38名**

**○勤務・通学先が県内 40名**

**○仕事以外 20名**

## 1-6 家庭内で生活が分離していると、家庭内感染は起こりにくいといえます

世帯員4人以上で家庭内感染がなかった世帯のうち、発症から入院までの期間が比較的長い者のいる世帯を抽出（14世帯）して調べた結果、

- もともと仕事や学校の都合で家族それぞれの生活リズムが異なっていた  
5世帯
- 発熱や咳など、何らかの症状が出た時点以降、家族と部屋を分けて生活する等の対策をとっていた  
9世帯

1-7 自身の体調に何らかの異変を感じても  
コロナを疑わず、**普段どおりの生活を  
続けていると、家庭内感染につながって  
しまいます**

世帯員4人以上で半数以上の者が家庭内感染した  
全19世帯では、

- 何らかの症状が出た時点以降も  
共に食事をする、同じ部屋で就寝する等  
**普段どおりの生活を継続**していた
- 咳や喉の違和感等があってもそれを**単なる風邪等  
と思い込む傾向**が強かった



1-8 大切な家族を守るため、  
ちょっとした風邪症状も甘く見ず、  
コロナを疑い、  
ただちに家族と生活を分離！！

## 1-9 その他類型毎の注意例

### 寮などの集団生活

- 相部屋、部屋間の自由な往来、トイレ・風呂の共同利用、食堂での食事などにより、感染が拡大

#### 対応策

- 体調不良者が1人でも出たら、**全員の個室管理**を徹底
  - ・ 1人部屋
  - ・ 食事は部屋まで配達
  - ・ トイレ、入浴以外は部屋から出ない、使用後は必ず消毒
  - ・ 入浴は時間を割り当て

## 友人との会食

- 陽性者がいた場合、感染の拡大を食い止めることは困難

### 対応策

➤ **参加者全員が感染リスクをチェックし合う**

- ・ 発熱、身体がだるい、喉が痛いなどの症状がある者
- ・ 数日以内に感染リスクの高い場所へ訪問歴がある者



**参加させない**

## 職場

- 食事や休憩時にマスクを外して会話などをするにより、感染が拡大

### 対応策

- マスクを外したときはしゃべらない、会話は食事後、マスクを着用してから

#### 県庁食堂の実践例

- 対面で着席しないよう、席数を減らし、卓上に飲食スペースを明示
- 食事中はできるだけ会話を控えるよう表記
- 混雑緩和のため、長時間スペースを独占せず、食事後は早めに退席するよう表記